

平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社IGポート

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成25年4月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	4,142	18.2	△183	—	△155	—	△220	—
24年5月期第3四半期	3,504	1.1	△77	—	△78	—	△96	—

(注) 包括利益 25年5月期第3四半期 △217百万円 (—%) 24年5月期第3四半期 △95百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	△4,620.68	—
24年5月期第3四半期	△2,013.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第3四半期	7,229	4,029	53.5
24年5月期	6,686	4,087	61.1

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 3,871百万円 24年5月期 4,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,632	20.6	42	△57.0	55	△21.0	42	20.9	879.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 009 RE:CYBORG製作委員会、Producti
on I.G Canadian Bureau Inc.、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年5月期3Q	48,952 株	24年5月期	48,952 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年5月期3Q	1,204 株	24年5月期	1,204 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期3Q	47,748 株	24年5月期3Q	47,748 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の政策期待によって、円安・株高傾向が強まり一部で好転の兆しも出はじめてきましたものの、依然として欧州財政危機や世界経済の減速等により先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,142,185千円(前年同期比18.2%増)、経常損失は155,750千円(前年同期は78,650千円の経常損失)、四半期純損失は220,628千円(前年同期は96,154千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「009 RE:CYBORG」、テレビ用アニメーション「PSYCHO-PASS サイコパス」「ROBOTICS:NOTES」「宇宙戦艦ヤマト2199」「黒子のバスケ」「輪廻のラグランジェ」等、ビデオ用アニメーション「新テニスの王子様」、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は2,399,962千円(前年同期比8.9%増)、セグメント損失は86,910千円(前年同期は26,599千円のセグメント利益)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」、コミックス「flat」6巻、「あまんちゅ!」5巻、「PSYCHO-PASS サイコパス」(上巻)等、定期月刊誌18点並びに新刊コミックス91点を刊行しました。また、既刊の「ヨメさんは萌え漫画家」「曇天に笑う」は、特に販売好調でありました。なお、ウェブ雑誌であるEDEN及びケータイサイトで連載された作品のコミックスの刊行は23点となり、ケータイ配信を含む有料課金での電子配信を8作品追加しており、合計214作品となっています。

以上により、当事業の売上高は702,977千円(前年同期比19.1%減)、セグメント損失は133,545千円(前年同期は46,032千円のセグメント損失)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「宇宙戦艦ヤマト2199」「ギルティクラウン」「009 RE:CYBORG」「劇場版BLOOD-C The Last Dark」「ももへの手紙」等の二次利用による収益分配を計上しました。特に「宇宙戦艦ヤマト2199」「ギルティクラウン」のビデオグラムは好調に推移しておりますが、大型作品への出資による映像マスターの減価償却費の負担が増えております。

以上により、当事業の売上高は885,578千円(前年同期比157.8%増)、セグメント利益は89,902千円(前年同期比1,228.2%増)となりました。

④ その他

その他の事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、人気コンテンツである攻殻機動隊のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)ゲームやiPhone/iPod Touch向けアプリ等により当事業の売上高は153,667千円(前年同期比74.7%増)となり、セグメント利益は10,218千円(前年同期は758千円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ543,420千円増加し7,229,452千円となりました。主な要因は現金及び預金が417,591千円、仕掛品が184,361千円、映像マスターが189,831千円増加し、一方、前渡金が166,907千円、売掛金が157,129千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ601,437千円増加し3,200,187千円となりました。主な要因は前受金が717,392千円増加し、一方、買掛金が165,103千円、未払法人税等が79,426千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ58,016千円減少し4,029,265千円となりました。主な要因は少数株主持分が158,161千円増加し、一方、四半期純損失の計上により利益剰余金が220,628千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期の業績予想につきましては、売上高6,632百万円、営業利益42百万円、経常利益55百万円、当期純利益42百万円を予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに出資した「009 RE:CYBORG」製作委員会を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、Production I.G Canadian Bureau Inc.は重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,758,543	2,176,134
受取手形及び売掛金	878,721	721,592
商品及び製品	120,088	189,072
仕掛品	873,315	1,057,677
貯蔵品	5,960	7,272
前渡金	241,500	74,592
繰延税金資産	79,297	30,828
その他	57,285	136,694
貸倒引当金	△1,478	△824
流動資産合計	4,013,235	4,393,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	814,350	774,946
土地	838,506	838,506
映像マスター(純額)	438,527	628,358
その他(純額)	40,941	44,050
有形固定資産合計	2,132,325	2,285,861
無形固定資産		
のれん	145,153	125,129
その他	14,437	21,929
無形固定資産合計	159,591	147,058
投資その他の資産		
投資有価証券	180,208	171,999
その他	221,240	244,859
貸倒引当金	△20,569	△13,368
投資その他の資産合計	380,879	403,491
固定資産合計	2,672,796	2,836,411
資産合計	6,686,031	7,229,452

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	603,593	438,490
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	107,564	187,087
未払法人税等	88,174	8,747
前受金	906,019	1,623,411
賞与引当金	—	20,074
役員賞与引当金	3,581	—
返品調整引当金	49,000	38,100
受注損失引当金	9,924	88,565
その他	181,313	173,405
流動負債合計	2,289,165	2,917,877
固定負債		
長期借入金	259,180	229,183
退職給付引当金	34,459	34,090
その他	15,946	19,036
固定負債合計	309,585	282,309
負債合計	2,598,750	3,200,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	701,400	701,400
資本剰余金	1,842,569	1,842,569
利益剰余金	1,616,293	1,395,665
自己株式	△72,870	△72,870
株主資本合計	4,087,393	3,866,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△111	69
為替換算調整勘定	—	4,269
その他の包括利益累計額合計	△111	4,339
少数株主持分	—	158,161
純資産合計	4,087,281	4,029,265
負債純資産合計	6,686,031	7,229,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
売上高	3,504,470	4,142,185
売上原価	3,076,575	3,715,232
売上総利益	427,895	426,953
返品調整引当金繰入額	2,900	—
返品調整引当金戻入額	—	10,900
差引売上総利益	424,995	437,853
販売費及び一般管理費	502,740	621,654
営業損失(△)	△77,745	△183,801
営業外収益		
受取利息	572	725
デリバティブ評価益	—	11,610
為替差益	—	4,565
受取賃貸料	25,597	24,515
保険解約返戻金	—	9,799
その他	5,587	4,068
営業外収益合計	31,756	55,284
営業外費用		
支払利息	5,185	4,696
為替差損	366	—
賃貸収入原価	25,822	19,476
その他	1,287	3,059
営業外費用合計	32,661	27,233
経常損失(△)	△78,650	△155,750
特別利益		
固定資産売却益	—	44
特別利益合計	—	44
特別損失		
固定資産売却損	2,336	126
固定資産除却損	2,348	480
事務所移転費用	3,700	—
特別損失合計	8,385	607
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,035	△156,313
法人税、住民税及び事業税	6,405	17,095
法人税等調整額	2,712	48,768
法人税等合計	9,118	65,863
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,154	△222,177
少数株主損失(△)	—	△1,548
四半期純損失(△)	△96,154	△220,628

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,154	△222,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	180
為替換算調整勘定	—	4,269
その他の包括利益合計	163	4,450
四半期包括利益	△95,991	△217,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,991	△216,177
少数株主に係る四半期包括利益	—	△1,548

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,204,370	868,637	343,489	3,416,497	87,973	3,504,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,204,370	868,637	343,489	3,416,497	87,973	3,504,470
セグメント利益又は損失(△)	26,599	△46,032	6,768	△12,664	△758	△13,423

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△12,664
「その他」の区分の損失(△)	△758
のれんの償却額	△20,023
全社費用(注)	△44,298
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△77,745

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,399,962	702,977	885,578	3,988,518	153,667	4,142,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,399,962	702,977	885,578	3,988,518	153,667	4,142,185
セグメント利益又は損失(△)	△86,910	△133,545	89,902	△130,553	10,218	△120,334

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△130,553
「その他」の区分の利益	10,218
のれんの償却額	△20,023
全社費用(注)	△43,442
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△183,801

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。